次世代スマートデバイス開発プロジェクト

施策推進にあたっての課題

①車載用障害物センシングデバイス： 走行中に夜間を含む全天候下で、車両や歩行者等多数の障害物の位置と距離を同時にリアルタイムで高精度に測定するセンシングデバイスの開発と車載品質のデバイス実装技術、低コスト化技術の実現。
②障害物検知・危険認識プロセッサ： 走行車両周辺の歩行者、自動車、二輪車など多数の障害物の認識、それぞれの障害物の動きの予測、それぞれの障害物の衝突危険度を判別するソフトウェアや、それらをリアルタイムで演算できる高速、低消費電力プロセッサの実現。
③プローブデータ処理プロセッサ： エクサバイト規模の情報をリアルタイムで処理する低消費電力プロセッサ技術の開発。